

第23回

地方の若手弁護士に聞く—栃木大田原編—

新進会員活動委員会委員 清澤 清一郎 (58期)



新進会員活動委員会による地方の若手弁護士へのインタビュー記事の第三弾として、栃木県弁護士会の安部桂弥弁護士（59期）に、地方の支部で「即独」を果たした若手弁護士の現状についてお話を聞かせていただいた。

—— 栃木県と大田原市について、簡単に紹介してください。

安部：栃木県は、関東地方の北部に位置する県で、県庁所在地は宇都宮市です。人口は約200万人で、農業が盛んな他、日光国立公園等があり日本有数の観光県です。地裁の支部は、足利支部、栃木支部、真岡支部、大田原支部の4つがあります。私の事務所がある大田原市は、栃木県の北東部に位置する市で、県境として茨城県及び福島県と接しており、宇都宮市からは車で約1時間、人口は約8万人で、松尾芭蕉の「奥の細道」と縁の深い地として知られています。

—— 安部弁護士の出身地・修習地はどこですか。また、栃木県で弁護士登録し、大田原支部で独立開業した理由は？

安部：出身は宮城県、修習は宇都宮でした。弁護士の増加が目に見えていたため、東京よりも地方と考えていました。そして、妻の出身地が大田原支部管内であったことから、栃木県で仕事をしようと考え、修習希望地も最初から宇都宮を第一希望にしていました。

—— 他の若手弁護士は、栃木県にゆかりのある人が多いのですか。

安部：60期くらいまでは、地元出身者や宇都宮で修習し

た人が多いけれど、61期くらいからは徐々に栃木県にゆかりのない人が増えている印象があります。

—— 栃木県には、何名の弁護士がいるのですか。また、そのうち登録5年以内（58期以降）の弁護士は、何名くらいですか。

安部：平成22年7月現在、全体で142名、58期以降はそのうち42名です。新規入会者の数は毎年1割ずつ増えているという印象です。

—— 最近の採用状況は、厳しいと聞いていますか。

安部：私は、栃木県弁護士会の業務改革委員会に所属しており、修習生の就職問題も議論しているのですが、厳しいです。東京での就職が飽和状態となり、周辺地域に溢れ出てきているという印象を持っています。

—— 採用形態は、どのようなものが多いですか。

安部：ほとんどが通常の勤務弁護士のようです。いわゆる「即独」は、一緒に独立した私と同期の友人の2名と、新60期の1名だけです。

—— そのような状況の中で、安部弁護士が「即独」されたのはどうしてですか。

安部：一言で申しますと、環境に恵まれたからです。当時、大田原支部には弁護士が2名しかいなかったのですが、どちらも人柄の良い方で、大田原に来ることを歓迎してくれました。また、修習中にお世話になった本庁の先輩弁護士の方も、「大田原支部は弁護士が少ないので、独立するなら応援する。」と仰ってくれました。そこで、独立志向が強かった同期と一緒に「即独」することにしたのです。

——若手は、何年くらいで独立する人が多いですか。

安部：同期は、自分を除いて4名いますが（本庁1名、栃木支部1名、足利支部1名、大田原支部1名）、その内3名が独立しています。平均して、2～3年程度で独立する人が多いように思います。

——事件を受任するきっかけにはどのようなものがありますか。またどういう内容の事件が多いですか。

安部：国選・当番と、他の弁護士からの紹介、それに法律相談ですね。国選は月に3～4件、当番は月に1～3件程度回ってきます。また、法律相談は月に2～3回程度です。その他、HPは作っていないのですが、タウンページを見て直接電話をかけてくる方も月に3～4件いらっしゃいます。業務の内容は、債務整理が半分、刑事が2割、残りが離婚その他という状況です。

——委員会等の会務活動は、どの程度やっていますか。

安部：6つの委員会に所属しており、他の若手も同様です。ただ、正直なところ、私がきちんと出席できているのは先ほど言及した業務改革の他、民暴と人権公害委員会（部会）くらいです。

——開業当初から、収入は増えましたか。

安部：昨年までは一応微弱ではありますが右肩上がりで来ています。しかし、地方ではそれほど大きな事件がある訳ではないため、これからも増えるかどうかは疑問です。実際に、現時点（平成22年7月末）では、今年の同時期よりも収入が減っています。

——開業当時と比べて、生活面で変化はありますか。



安部 桂弥 弁護士 (59 期)

平成19年弁護士登録（栃木県弁護士会）
登録と同時に、大田原市内に安部桂弥法律事務所を開設

安部：仕事に慣れてくるにつれ、自由になる時間は増えており、最近では、休みの日は、妻と一緒に旅行に出かけたり、友人とゴルフに出かけたりすることが多いです。

——栃木県に弁護士登録して、よかったと思いますか。

安部：よかったと思います。穏やかな人が多いですし、宇都宮から東京まで新幹線で1時間かかりませんから、意外と便利です。東京などの大都市に登録していればと考えることは全くありません。

——最後に、東京から出張や旅行で栃木を訪れた弁護士におすすめの名物を紹介して下さい。

安部：食べ物で有名なのはやはり餃子ですね。餃子専門で、焼き餃子と水餃子のみで、ビールやライスを置いていない店も多いんですよ（笑）。観光地では、那須や塩原の温泉はとても良質なので、機会があったら訪れていただきたいです。